

(様式 5-2) 地域重点施策推進事業 事後評価調書(平成26年度実施分)

地域振興局名 : 秋田地域振興局

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	中嶋 敬子	地域企画課	企画・地域 振 興 班	岩 野 亘	018- 860- 3313	「東北六魂祭」を活用した 地域活性化調査事業	第5回東北六魂祭(H27年 度 秋田市)を秋田地域 振興局管内のにぎわい創 出や観光振興等につなげ ていくため、今年度の開催 地である山形での取組状 況に関する実地調査を行 う。	95,930	直 営	①第4回大会の視察調査 (5/24~25) ・山形市における食や物 販の提供提供、周遊観光 への誘導対策、おもてなし の状況等を実地調査。	県	観光客	平成26年5月12日	関係団体とともに山形市 で調査を行ったことで、当 日の混雑状況や観客の動 線の配慮、休憩スペース の確保、現地での観光消 費等の課題を確認するこ とができた。	H27.5.30~31の第5回東 北六魂祭では、秋田市と 連携をとり、地酒のふるま いによるおもてなしの実施 や、周辺観光への誘導な ど、振興局としても積極的 に関わっていく必要がある。 。
						平成26年6月							平成27年10月30日		
総務企画部	中嶋 敬子	地域企画課	企画・地域 振 興 班	佐藤 博美	018- 860- 3313	秋田市民市場活性化事業	秋田市民市場を活性化 し、中心市街地のにぎわ い創出につなげるため、 実行委員会を組織し、市 場井(仮称)サービスの提 供体制の構築、たまり場 の設置、広報PR等を行 う。	559,872	負 担 金 直 営	①実行委員会を組織し、 現在市場で提供できる サービスの「見える化」(ポ スター、リーフレットの制 作)、たまり場「のんびりス ペース」や看板の設置な ど、広報PR等を行う。 ②先進地である高知県の 「ひろめ市場」「久礼大正 町市場」、愛媛県の「内子 フレッシュパーク」を視察 し、取組の参考とする。	秋田市民市場 活性化事業実 行委員会	県民	平成26年9月25日	空きスペースを活用した 「のんびりスペース」を設 置したことで、買い物客が 購入したものをその場で 飲食するなど、お客様側 からの変化が見られた。	・当初計画していた「市場 井(仮称)」の実施に向け て、引き続き実行委員会 による事業を継続するが、 市場内の店舗側のやる気 をいかに引き出すかが課 題。 ・「のんびり編集部」が市 場内の調整を行っており、 行政とは違う手法に期待 したい。
						平成26年9月 ~ 平成27年3月							平成27年10月30日		
総務企画部	中嶋 敬子	地域企画課	企画・地域 振 興 班	佐々木 源	018- 860- 3313	湘南地区をターゲットとし た観光プロモーション事業	東京以西からの旅行者の 掘り起こしを図るため、民 間協議会及び県内鉄道会 社等と連携して、江ノ電沿 線の駅での観光プロモー ションを実施する。	496,210	直 営	①プレスリリース(2/6 藤 沢市役所) ・観光フェアの実施をPR するため、局長、協議会 会長及び県内鉄道会社社 長等が共にフェアをプレス リリースした。 ②観光プロモーション&物 産フェア(2/7~8 江ノ電 鎌倉駅コンコース) ・男鹿、由利管内の事業 者及び県内鉄道会社が物 販と観光プロモーション等 を実施した。	県	観光客	平成26年12月8日	プレスリリースでは、3紙 (神奈川新聞、東京新聞、 毎日新聞)に掲載され、男 鹿を効果的に紹介するこ とができ、フェアにおいて も男鹿市の協力によりナ マハゲを登場させるなど、 「柴灯祭り」等のPRをする ことができた。 鉄道の面では、江ノ電と 県内鉄道会社等との結び つきに繋げる良い機会と なったことから、今後の進 展に期待したい。	協議会を支援する面から も、継続して事業を重ね ていくこととしている。た だ、物販の売上にはバラツ キがあり、紹介する商品 の選定等に課題が残った ところである。 このため、販売事業者等 とよく相談したうえで、開 催場所や時期について、 より効果的な開催として いく必要がある。
						平成26年12月 ~ 平成27年2月							平成27年10月30日		